

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2779500673
法人名	ジャパンケアネットサービス株式会社
事業所名	グループホーム・ミズナス
所在地	大阪府阪南市鳥取475-1 (電話) 0724-73-8802

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階
訪問調査日	平成20年1月28日
評価確定日	平成20年2月25日

【情報提供票より】(20年 1月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 12月 1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	8人
利用定員数計	18人
常勤	5人
非常勤	3人
常勤換算	8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(400,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,500 円	

(4) 利用者の概要(1月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2		6名	
要介護3	8名	要介護4		1名	
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85歳	最低	78歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	羽原病院 しが歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

瀟洒な建物で、広い敷地内に1階がデイサービスで、2階がグループホームになっており、1フロアに2ユニット並んで、行き来出来る構造となっています。入居者同士一緒に過ごす事でコミュニケーションが良くなり、レクリエーションをしたり、おいしい食事をみんなで楽しみながら笑顔で過ごされています。また、デイサービスへ頻りに遊びに行ったり、畑で野菜を作り、収穫をしてお裾分けをしたり、書道のコンテストに参加したり、裁縫やパソコンなど一人ひとりの生活歴や趣味を職員は大切に支援しており、入居者は生き活きと生活されています。職員の定着も良く、馴染みの関係でのケアが出来ており、入居者一人ひとりのミニカンファレンスを毎日するなど情報の共有を図りながら前向きにケアに取り組まれています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題については職員で話し合いながら取り組まれている。広いベランダを活用し、花壇をつくり、入居者が少しでも外へ出る機会としています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、職員に自己評価票を配布し、意見集約しながら作り上げられています。各項目の理解を通して、日々のケアを振り返る良い機会にもなっています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2~3ヶ月に一度開催している運営推進会議には、阪南市介護保険課職員、自治会会長に参加してもらっています。会議ではホームでの活動報告をはじめ、食事の試食をしてもらったり、地域の行事案内をもらう機会としています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族との信頼関係が大切と考えられており、家族がホームに来られた際に、出来るだけ話をするように努めています。得られた意見については、職員間で話し合い、改善に向けて取り組まれています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	畑作りに精通した入居者がおり、ホームの畑で近所の方と一緒に畑仕事をしたり、土の話などを通して交流しています。ホームとデイサービスが開催する夏まつりには地域の方々も参加され、地域の秋祭りではやぐらでホームまで来てもらったりもしています。また、近くの幼稚園や小学校との交流も積極的に行っています。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員の日々のケアの基本となる5つの項目を理念として掲げられている。理念はスタッフルームに掲げられている。	○	地域密着型サービスのホームとして、住み慣れた地域で暮らしていくことや、役割について職員で話し合い、理念に盛り込まれる事と理念を玄関など誰でも目につく場所に掲示されることが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝、昼、夕方のミーティング、月1回の会議やカンファレンスにて職員の意識を共有し、理念に基づいたケアに取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	畑作りに精通した入居者がおり、ホームの畑で近所の方と一緒に畑仕事をしたり、土の話などを通して交流している。ホームとデイサービスが開催する夏まつりには地域の方々も参加され、地域の秋祭りではやぐらでホームまで来てもらったりもしている。また、近くの幼稚園や小学校との交流もしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での課題については職員で話し合いながら取り組まれている。広いベランダを活用し、花壇をつくり、入居者が少しでも外へ出る機会としている。今回の自己評価は、職員に自己評価票を配布し、意見集約しながら作り上げられている。各項目の理解を通して、日々のケアを振り返る良い機会にもなっている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市介護保険課職員、自治会会長が出席する運営推進会議ではホームでの活動報告をはじめ、食事の試食をしてもらったり、地域の行事案内をもらう機会としている。		

グループホームミズナス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市との連携の重要性を認識しており、ホーム側から出向いたり、電話で相談しながらサービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームに家族が来られた際や電話にて日頃の様子を伝えており、金銭管理については毎月領収書原本とともに報告している。また、イベントの際は写真を撮り、ホーム便りとしてミズナス通信を送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との信頼関係が大切と考えられており、家族がホームに来られた際に、出来るだけ話をするように努めている。得られた意見については、職員間で話し合い、改善に向けて取り組まれている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の意見をとりいれたり、職員間のコミュニケーションも良くとられており職員の定着率が良く、馴染みの職員でのケアが実践されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内で管理者による勉強会を実施している。外部研修等については受講がされていない。	○	ホーム外で開催される研修の情報収集を行い、なるべく多くの職員が受講できる体制づくりが希望される。また、研修後の伝達研修やレジュメの回覧を通して、全職員が共有出来る体制づくりも期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームに相談したり、お互い行き来したり交流を図っている。今後は職員相互の交換研修等を通じてより良いサービスの質の向上に取り組むとも考えている。		

グループホームミズナス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	なるべくご本人にホームを見学してもらおうようにしている。待機者に1階のデイサービスを利用してもらい、その際、2階のホームにも来てもらい、入居者や職員との交流を通して、家族と相談しながら馴染みの関係づくりに配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	寄り添いのケアを心がけ、特に日曜日は食事づくりを職員と一緒に楽しみながら調理や包丁の使い方などを教えてもらったりして、支え合う関係づくりを心掛けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中から把握した情報を職員間で共有し、入居者のこれまでの仕事や、趣味など生活歴を大切にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の思いを尊重し、毎日の申し送りの際のミーティングでは入居者全員のミニカンファレンスや、サービス担当者会議の際に職員の意見を話し合い、一人ひとりより良く暮らすための介護計画が作成されている。またご家族が来られた際や電話で話し合い、意見を反映している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に6ヶ月に1回見直ししている。毎日のミニカンファレンスやモニタリングを通してなるべく早く変化を見出し、サービス担当者会議を開催し、個別の出来事等を話し合い現状に即した介護計画が作成されている。		

グループホームミズナス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別の買物、理美容院への支援、喫茶店に行ったりなど家族の状況に合わせて支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については入居時に希望を聞いている。協力医療機関による2週間に一度の往診や24時間の対応が可能である。また、週に一度、歯科衛生士の訪問も支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとして現時点で終末期ケアの経験はないが、入居時に家族の希望を聞き、ホームの方針もお話し、職員間でも共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを尊重し、その方に合った言葉掛けをしている。個人情報等の記録物は事務室で保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ラジオ体操、嚙下体操など大まかな日課はあるが、一人ひとりのペースを大切に、出来るだけ希望にそった支援をしている。		

グループホームミズナス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食、夕食はデイサービスの料理人が作っているが、日曜日は入居者と一緒に調理をしている。夕食のメニューは職員が入居者の希望を聞きながら考えている。食事作り、配膳、食事、後片づけなど出来る事は一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望にそった入浴支援がされており、入居者は1階のデイサービスにある大浴場での入浴を楽しみにしている。また、夜間入浴も可能な体制もとっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑作り、調理などの生活歴や裁縫、書道、カラオケ、将棋、パソコンなどの趣味、熱帯魚、犬の餌やりなど役割、楽しみごとを大切に、支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には散歩やドライブ、近くのコンビニへ買物にでかけたり、マッサージに行ったりしている。また、広いベランダがあり、少しでも外へ出てもらい、気分転換してもらっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム玄関直ぐに階段があり、危険である事と防犯上のため家族の了承を得て鍵を掛けている。エレベーターで1階のデイサービスへよく行かれる入居者もあり、外に出たい際は一緒に付いて行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導の下、年に2回避難訓練等を行っている。	○	運営推進会議で話し合ったり、地域の住人に避難訓練の参加を呼びかけ、協力体制を築く事が期待される。

グループホームミズナス

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康管理表で食事、水分摂取量を記録し、データ化している。職員に栄養士がおり、入居者の好みや状態の把握やデイサービスの料理人との連携もしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1フロアに2ユニットが行き来できる構造で、天井も高く、室内は大変明るく、広々としています。少人数で過ごせるスペースや、ベランダには季節を感じる事の出来るプランターや花壇もあり、思い思いに過ごせる居心地の良い、空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた卓袱台や棚等の家具やテレビ、冷蔵庫を持ってきてもらい、小物やホームでの作品を飾ったり、また、希望があれば畳を敷くなど一人ひとりに合った居室づくりをしている。		